

# 女性の新しい働き方支援事業【長浜市】

個別事業費	1,572千円
交付金額	786千円

## 地域の実情と課題

当市では少子高齢化・人口減少が進み、特に若年女性の減少が顕著である。一方で女性の就労意欲は高く、女性の労働率が増加してきているものの、M字カーブの解消には至っていない。また、男女平等感に関し「平等ではない」との認識が各分野で根強く、両立への不安も高い。この問題を解消し、地域の活力向上を図るためには、都市圏に出ずとも一人ひとりが自分に合った働き方ができる起業・就業支援、女性の職業生活におけるキャリアの再構築を進め、経済的な自立促進が必要と考えられる。

## 事業の特徴

講座においては子連れでの受講を可能とし、子育て中の女性も参加しやすい環境を整えるとともに、講義形式と実習形式も行っている。就業支援では、個別の相談や就業に関する講座・就業相談の紹介などの情報提供に合わせて、主にデザインスキルを生かした仕事とのマッチングやアドバイスをを行い、実際の就労につないでいる。

## 事業の効果

デジタル技術が普及した社会で求められる実践的なデジタルスキル習得講座と場所や時間に縛られにくいデジタル分野での就業支援を一体的に実施した結果、47人が受講した。就労支援により、単なる学びに留まらず、受講者のうち26人(就労率55.3%)が習得したスキルを活かして在宅ワークやデジタル分野への就職など、受講者自身に合った多様で柔軟な働き方の実現に寄与した。学び直しを通じた多様で柔軟な働き方の実現と、女性の社会参画および活躍の場の拡充にも貢献した。

## 目的・目標

女性が働くために必要なデジタルスキルの習得をめざしてスキル習得を目的とした講座を実施し、多様で柔軟な働き方が可能なデジタル分野での就労を促進する。これにより、女性のキャリア再構築を支援し、女性就労率を増加させることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	女性の新しい働き方支援事業受講者数	15人 (アウトプット)	47人 (8年3月時点)	313%
事業KPI	女性の新しい働き方支援事業における就労率 (仕事を開始した人数/ 受講者数)	60% (アウトカム)	55.3%	92%

## 連携団体

合同会社LOCO・長浜市パートナーシップ推進協議会・本市または県内に在住し、デザインスキルを習得・活用している専門家・滋賀県及び県内各市町の女性活躍推進担当課(男女共同参画担当課・商工労働担当課)・ハローワーク長浜・滋賀マザーズジョブステーション

## 今後の課題

企業内におけるデジタルスキルを活用したキャリアアップ支援にも繋げるため、今後は受講対象者を「デジタルスキルを身につけて働きたい女性(未就業者)」に限定せず、既に就業している女性も対象に含め、女性デジタル人材の裾野を広げていく必要がある。また、デジタルスキルは幅が広く奥深いため、講座修了後もスキルや実績が十分でない女性デジタル人材(デザイナー等)に対し、継続的なアドバイスやサポートを行う体制が求められる。より高度なスキル習得を目指す人材の育成を見据え、受講者のニーズや社会の動向に合わせて講座内容を随時見直ししながら、中長期的な視点で人材育成に取り組んでいく。

## 事業の概要

＼デジタルスキルを生かした／

### 女性の新しい働き方支援事業

女性が働くために必要なデジタルスキルの習得講座を実施し、多様で柔軟な働き方が可能なデジタル分野への就労を促進することを目的としている。

#### 1. デジタルスキル習得のための講座

##### デザイン科

5回（授業3回、実習2回）



デザインの基本を学び、実践的なスキルとセンスを学びました。  
受講者人数：17名

##### デジタル科

8回（授業7回、実習1回）



デジタル技術が普及した社会で再就職・起業等就業する際必要となるデジタルスキルを学びました。  
受講者人数：30名

#### 2. 就業支援

（講座修了後）

受講者へ個別ヒアリングを実施し、個々のスキルレベルや希望する働き方を把握した上で就業支援を行いました。

【内容】

##### ①近況調査

（個別相談を通じて就業に対する思いや、必要とする支援内容をヒアリング。）

##### ②情報提供

（個人のニーズに合わせて情報を提供。）

##### ③仕事の提供

（仕事とのマッチング・アドバイス）